



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

「核廃絶・平和都市宣言」を庁舎に

鈴木やす子議員の一般質問から

2009年第3回
定例9月議会

9月8日におこなわれた市議会本会議における
日本共産党の鈴木やす子議員の一般質問の概要を
報告します。

民主党のFTA交 渉に市長の意見を

〔鈴木やす子議員〕 民主党が推進している日米FTA交渉について、影響をどう考えるか。
〔市長〕 FTA（自由貿易



黒潮杯

「北茨城市黒潮杯野球大会」(9/23、市民野球場)

〔環境産業部長〕 今年から始まった飼料

用米の生産や果樹栽培の支援など農家の経営安定をはかつていく。また高齢化した従事者対策として担い手などの育成にも努力していく。

〔鈴木議員〕 自国の食糧を確保できる農業政策がなにより必要であり、どの先進国も保護政策を取っている。国としての方向転換も求めるが、生産地にあつては、市民や消費者に支持される政策、安心安全の作物づくり、地元の自給率向上をめざすことが必要と考える。

核兵器廃絶と平和 行政の推進を

〔鈴木議員〕 核兵器廃絶を明言した米のオバマ大統領の発言が、平和を願う世界の人々を勇気づけ、被爆者団体や広島・長崎の両市長も歓迎の声を上げた。豊田市長は昨年、核廃絶を求め「平和市長会議」に賛同し、核廃絶への具体的な行動提起を求める「ヒロシマ・ナガサキ議定書」にも賛同を示している。見解をうか

がう。

〔市長〕 じつさいに広島や長崎に行く時間はなかなかとれないが、今後とも平和を追求していきたい。北茨城市民もそう思っていると思うし、ぶれない政治をしていく。

〔鈴木議員〕 具体的な形の一つとして、「核兵器廃絶・平和都市宣言」を庁舎内に掲示することを提案する。

〔総務部長〕 同宣言は昭和62年9月、議員提案により採択された。早期に掲示したい。

〔鈴木議員〕 負の遺産といえども、後世に伝えていくべき貴重な史跡がある。市民グループが戦争遺跡をめぐったり、資料展示の取り組みを重ねている。市内の戦争遺跡、特に風船爆弾関連地の整備を求める。

水害の概況と、 常襲地区への対策

〔鈴木議員〕 8月9日17時から24時間総雨量が250ミリに達し、観測史上最多を記録した。土砂崩れが起こり、一時は常磐線が不通となる事態も起こった。被災者にお見舞いを申し上げたい。当時の被害につい

増えるイノシシ害



中郷町松井の水田 (9/24)

〔教育長〕 関連地はほとんど民間の所有であり、遺跡に関する資料がほとんどなく、保存・整備はむずかしい。しかし、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えることの重要性は認識している。できる限り資料収集につとめるとともに、関係者のご協力を得ながら、この地に跡地があることの周知方法などを検討していく。

家屋被害は、床下浸水が磯原町上相田や大津町北町など、合わせて5軒。農林水産被害は、法面崩落など22ヶ所、被害額は約2040万円。土木被害は、河川の護岸崩落など44ヶ所、約1095万円の被害があつた。

てうかがう。

〔総務部長〕 8月9日午後8時から10日午後8時までの各観測地点の24時間総雨量は、北茨城高校で252mm、豊田で221mm、花園で156mmに達した。また最大1時間雨量は、8月9日午後10時に北茨城高校で36mm、豊田で34mm、8月10日午前6時に花園で31mmを観測している。

〔鈴木議員〕 庁舎内のタテ割りの管轄を横断し、防災ネットワークの構築のため、地域や管理組合間の橋渡し役などを行政が担うべきである。